

セスジコナカイガラムシ (別名 リンゴコナカイガラムシ)

ワラジムシ形で白い粉に覆われる。体長は最大5mm。春～秋までみられ、主に幹や枝に寄生する。

様々な広葉樹やイチイ、スギにつき樹液を吸う。

庭や公園で普通にみられるが、北海道では多発した例は知られていない。防除は普通必要とされない。



1. セスジコナカイガラムシ (白い虫) とスギマルカイガラムシ (茶色の虫)。1986/7. イチイ。
2. セスジコナカイガラムシ幼虫, 体長1.5mm。2001/5/17. 美唄市, 庭のチシマザクラ。

【学名】 *Dysmicoccus wistariae*

【分類】 カメムシ目 (Hemiptera) , コナカイガラムシ科 (Pseudococcidae)

【分布】 北海道, 本州, 四国, 九州; 朝鮮, イギリス, 北アメリカ, ミクロネシア。

【生態】

宿主: イチイ, スギ, ケヤキ, エノキ, スズカケノキ, リンゴ, ズミ, ナシ, サクラ, カエデなど。

道内における詳しい生態は不明。本州では年1回発生し、幼虫越冬。春遅く幼虫が孵化する。主に幹や枝に寄生し、吸汁加害する。

【文献】

1977. 奥野孝夫, 田中寛, 木村裕. 原色樹木病害虫図鑑. 保育社, 大阪. (形態, 生態, 防除)

1980. 河合省三. 日本原色カイガラムシ図鑑. 全国農村教育協会, 東京. (分類, 形態, 寄主)

北海道立林業試験場・緑化樹センター

セスジコナカイガラムシ kaigara/sesujiko/
kaisetu.htm

「文章」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/2/5.

musi.JPG 「写真1」 鈴木重孝, 北海道立林業試験場, 1986. musi2.JPG 「写真2」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001.